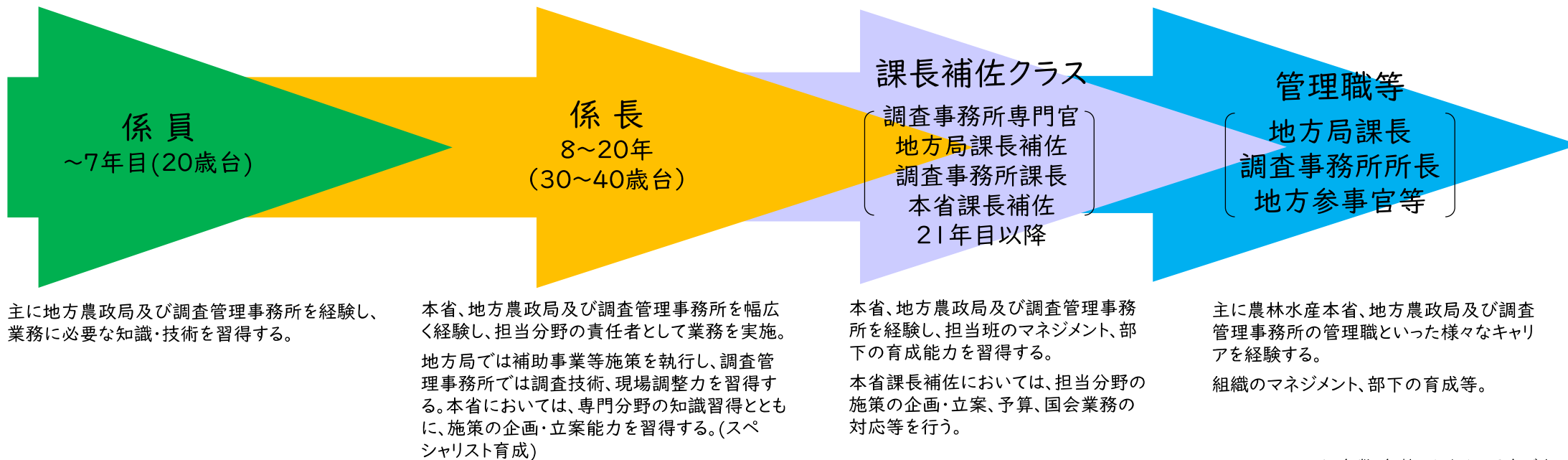


キャリアパスと研修制度

○ 調査計画職員として採用されると、地方農政局を拠点として、調査管理事務所や、農林水産本省などをおおむね2,3年のサイクルで異動することで、政策の立案から現場での実行までの一連の業務を経験します。

本省では農村振興局を中心に大臣官房等他局のほか、時には他省庁や在外公館など、様々な場で多様な業務に携わります。

○ 充実したOJT（On-the-Job Training）のほか、職員の資質向上と職務上必要な知識や技術の習得を目的として、様々な研修を用意しています。



※ 年数、年齢はおよその目安です。

【研修の例】

階層別
研修

初任者研修

係長養成研修

係長フォローアップ研修

課長補佐等養成研修

課長補佐
フォローアップ研修

管理職研修

実務研修

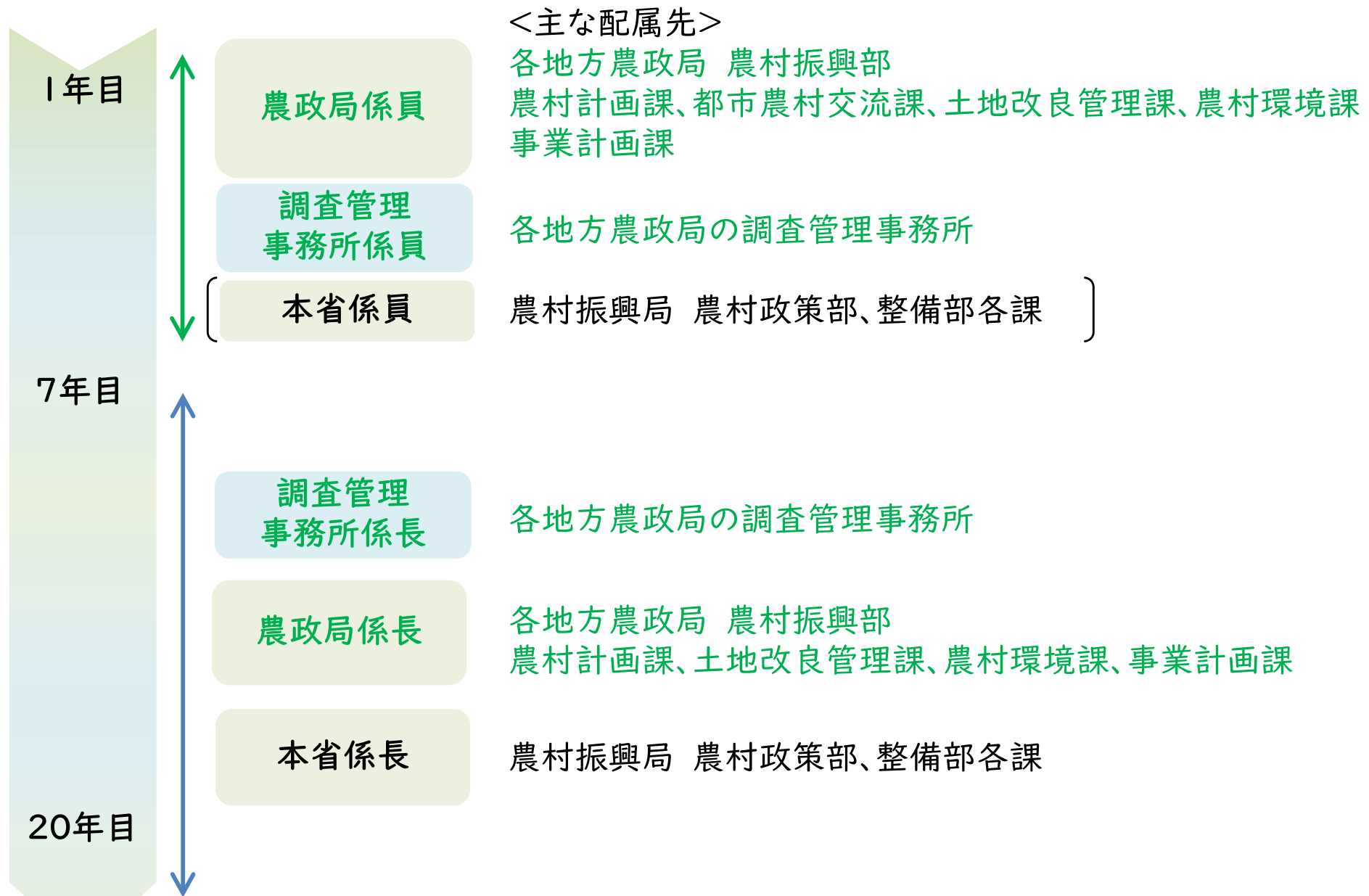
地域農業開発計画研修

農村工学専門技術研修(経済効果Ⅰ,Ⅱ)

環境影響評価等各種環境関係研修(環境省)

農作物鳥獣被害防止対策研修

調査計画職員のキャリアパスの例



その後は、調査管理事務所の専門官、課長、地方農政局の課長補佐、農林水産省本省の課長補佐、地方農政局の管理職や調査管理事務所の幹部といったキャリアを経験することとなります。

ワークライフバランスに関する取組

両立支援制度

男女ともに仕事と家庭生活の両立が行えるよう、様々な支援制度があります。

育児のための主な制度概要

休業・休暇を取得したい

育児休業

- ・一定期間の休業（子が3歳まで）（無給）

育児短時間勤務

- ・短い勤務時間（4時間55分×5日等数パターン）での勤務（子が未就学まで）

育児時間

- ・勤務時間の始めか終わり（～2時間）の無給休暇（子が未就学まで）

育児参加のための休暇 子の看護休暇

- ・日又は時間単位の有給休暇
- ・育児参加休暇：5日（妻の産前産後期間）
- ・子の看護休暇：1年に5日（子が2人以上であれば10日）（子が未就学まで）

勤務時間帯を変更したい

フレックスタイム制

- ・1日の勤務時間数を、7時間45分以外（最短4時間）に設定可
- ・勤務時間帯を、7時～22時の間で設定可（コアタイムあり）
- ・土日以外にも週休日をもう1日設定可
※総勤務時間数を保つよう、週単位（1～4週間）で希望する勤務時間を申告
※通常の職員のフレックスタイム制より柔軟

早出遅出勤務

- ・1日の勤務時間数を保ったまま、早出や遅出可
- ・いくつかの早出遅出勤務のパターンから、希望するものを選択
（例：早 7:30～16:15 遅 10:30～19:15等）

超勤・深夜勤を避けたい

深夜勤務の制限

- ・午後10時から翌日午前5時までの間勤務しないことが可能

超過勤務の制限

- ・超過勤務の時間数を、「1月に24時間、1年に150時間」までに制限可能
※災害等による臨時の勤務は除く

超過勤務の免除

- ・超過勤務をしないことが可能
※災害等による臨時の勤務は除く

- ※ 各省各庁の長に対する請求や申告が必要。公務の運営に支障がある場合、承認されないこともあります。
- ※ 育児休業期間中は、国家公務員共済組合から育児休業手当金（～67%）が支給されます。（子が1歳になるまで）

（人事院ホームページより）

- ◆ 全ての国家公務員に適用される両立支援制度の詳細は人事院HPをご覧ください。
(https://www.jinji.go.jp/ikuzi/ryouritsu_toppage.html)



- ◆ その他、外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にするために、最長3年休業できる制度（配偶者同行休業制度）もあります。詳しくは人事院HPをご覧ください。
(<http://www.jinji.go.jp/doukou/toppage.html>)



働き方改革

農林水産省では、ワークライフバランスの向上に向けた政府全体の取組と併せて、様々な取組を推進しています。

- ✓ 有給休暇（夏季休暇、年次休暇等）の取得推進
- ✓ 残業時間の削減、業務効率化
- ✓ テレワークの活用



採用について

調査計画職員の採用

- 農村政策に関心のあるみなさんの中から**若干名を、採用します！**

【2022年度実績】

8名（うち、農学 4名、農業農村工学 2名、土木1名、化学1名）

- 「**現場主義**」を実践する農林水産省の中で、農村の現場において農業者や市町村等の**地域と一体となった活動**や**フィールドワーク**もある職場です。
- みなさんの力を、農業生産の向上や農村の地域づくり等、農村振興の取組に活かしてみませんか！



2023年度 調査計画職員の採用の流れ

試験区分	「農学」、「物理」、「化学」	「農業農村工学」、「機械」、「デジタル・電気・電子」、「土木」
1次試験(人事院)	6月11日(日)	
1次試験合格発表日	7月5日(水)	
官庁訪問(一次面接)	7月7日(金)・7月8日(土) 会場: 関東農政局、近畿農政局	7月7日(金)・7月10日(月) ・7月11日(火) 会場: 各地方農政局
2次試験(人物)(人事院)	7月12日(水)～7月28日(金)	
官庁訪問(二次面接)	— (一次面接のみ)	7月下旬～8月上旬
最終合格者発表(人事院)	8月15日(火)	
採用内々定(各農政局等)	8月15日(火)～	

※ 具体的なスケジュール、予約先等は、[地方農政局](#)のホームページで公表

採用予定数と採用時の勤務地

- ① 2023年度の調査計画職員の採用数は、試験区分「農学」「農業農村工学」「機械」「デジタル・電気・電子」「土木」「物理」「化学」から若干名。
- ② 勤務地は各地方農政局の本局、土地改良調査管理事務所、農林水産本省等となります。

一般職採用試験(試験区分)

試験区分	
行政	行政
技術系	デジタル・電気・電子
	機械
	土木
	建築
	物理
	化学
	農学
	農業農村工学
	林学

《 参考 》 農村振興局の取組などを紹介するweb等



農林水産省農村振興局 Official web

農村振興局の施策のほか、以下のような様々な参考情報を掲載

〔土地改良事業関係〕



「水土の礎」

農業農村整備の歴史を紹介



「河北潟周辺の農業水利」とは

農業農村整備事業の一事例を紹介

このページの他、各
取組紹介ページの
右上などにも二次
元コードを掲載して
います。

〔地域振興関係〕



「農山漁村ナビ」

地域づくりの取組や地域資源の魅力を紹介



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」

農山漁村のポテンシャルを引き出し、地域の
活性化に取り組んでいる優良事例を紹介



農業遺産 × 6次産業化

地域づくりの施策(農業遺産)が地域振興に
結びついた事例を紹介



農村振興及び地域活性化に関する動画
地域の暮らしを支える取組と、その取組を通じた
住民間のささやかな触れあい (YouTube)